

守ろう鈴鹿青少年の森

サッカー場 着工はストップ

させよう！



多くの市民が「なぜここに？」と驚き、「青少年の森の自然をこわすな」と反対の声が高まっているサッカースタジアム建設。サッカーチーム運営会社(株)アンリミテッドは1月25日、「2月9日から工事に着工」と発表、青少年の森に看板を立て出しました。いちばん森が深く、野鳥や虫たちを育てている区域5haの樹木を伐採し、土を10m以上も掘り下げる工事を始めようというのです。

日本共産党鈴鹿市議団の石田秀三・高橋さつき議員は27日、末松市長に「スタジアム着工中止」を申し入れました。(申し入れ文は裏面) 市民団体「鈴鹿青少年の森を愛する会」も、工事に反対する活動を強めています。市民の声をさらに広げ、みんなの森を守りましょう！

◎工事は民間会社が行いますが、公園の土地の使用許可を県から受けているのは鈴鹿市。民間会社が事業継続できなくなれば、鈴鹿市が責任を負います。

◎事業費は8億円ですが「全額借入金」、ア社の自己資金はゼロ、という異常な資金計画。スタジアムをきちんと経営できるのでしょうか？

豊かな緑の森が丸裸に！サッカースタジアムの完成予想図 (ア社 HP より)



2022年1月27日

鈴鹿市長 末松 則子 様

日本共産党鈴鹿市議団

石田 秀三

高橋 さつき

青少年の森でのサッカースタジアム着工中止の申し入れ

昨年来その計画の妥当性について、公園利用者・市民から多くの疑問や反対意見が出されてきたサッカースタジアム建設計画が、この2月9日に着工すると、(株)アンリミテッド社のホームページで告知されました。

私ども日本共産党鈴鹿市議団は、以下の点で解明されていない問題がある現時点での工事着工は中止して、市民にきちんと説明できる検証を行うことを求めるものです。5haもの自然豊かな森を伐採しなければスタジアム工事にかかれぬ現場の現状から、一度伐採されてからでは元に戻すことが出来ず取り返しのつかない事態になりかねません。再考を求めます。

- ① 建設用地は三重県から鈴鹿市が使用許可を得ているものであり、不測の事態になれば原状回復の責任はすべて鈴鹿市が負わねばならない。(2021年12月2日三重県議会本会議での答弁)
- ② 発表されたアンリミテッド社の資金計画は、建設資金8億円をすべて借入金でまかない、自己資金ゼロという驚くべきもので、とても今後の経営が順調にいくとは思われない。2020年12月時点の「総工費4億円(当時)は8割方めどは立っている。」(吉田社長の発言・中日新聞12月22日)からも大きく後退している。

末松市長は鈴鹿市の責任者として、またアンリミテッド社と共に建設を推進してきた当事者として、事態を正しく認識され、賢明なる判断をされるよう申し入れるものです。速やかな回答を求めます。

以 上